国立科学博物館
National Museum of Nature and Science

プレスリリース

平成 24 年 11 月 6 日
独立行政法人国立科学博物館

国立科学博物館の自然史標本棟「見学スペース」公開開始

独立行政法人国立科学博物館（館長：近藤　信司）では、筑波研究施設（茨城県つくば市）にある標本資料収蔵施設「自然史標本棟」の見学スペースの公開を平成２４年１１月１３日（火）から別紙のとおり開始します。

国立科学博物館では４００万点を超える標本資料を収蔵しており、「自然史標本棟」では動物や植物、岩石・鉱物や古人骨標本などを収蔵しています。今回公開する「見学スペース」は、自然史標本棟の１階にあり、クジラやゾウなどの大型動物の骨格標本を中心に、標本の収蔵状況を、ガラス越しに見ることができます。また、棟内の別のフロアおよび敷地内の収蔵施設、当館の研究活動についても、映像やパネルで紹介します。

この「自然史標本棟」は、標本資料の収集・保管や研究活動といった、博物館の重要な活動でありながらも人々の目にあまり触れることのない「バックヤード」を広く知ってもらうために、建物の計画段階から標本室の一部を見学できるよう進めてきました。９ヶ月にわたる東京地区からの移転作業が今年３月に終了し、建物内の標本資料の整理がある程度進んできたことを受け、このたび、茨城県民の日にあわせて、筑波実験植物園への来園者を対象に公開を開始することとしました。

展示施設をイメージされやすい博物館ですが、この見学スペースの公開を機に、博物館の標本資料の収集・保管や研究活動についても、広く知っていただければと考えています。

本件についての問合せ
独立行政法人　国立科学博物館
筑波研究施設　標本資料センター：窪寺　恒己（コレクションディレクター）
研究活動広報担当：内尾　優子
〒305-0005　茨城県つくば市天久保 4-1-1
TEL: 029-853-8901（代表）　FAX: 029-853-8998
E-Mail: outreach@kahaku.go.jp
＜国立科学博物館ホームページ＞　http://www.kahaku.go.jp/

別紙

自然史標本棟見学スペース概要

1. ＜公開開始日＞　平成２４年１１月１３日（火）　（茨城県民の日）

2. ＜対　象＞　筑波実験植物園への来園者

3. ＜公開日、公開時間＞
   筑波実験植物園の開園中に公開。（植物園の開園時間については下参照。）

4. ＜見学できる主なもの＞
   ・自然史標本棟１Ｆ「大型動物骨格・化石標本室」に収蔵のクジラやゾウなどの大型動物の骨格標本などの収蔵状況をガラス越しに見学することができる。
   ・国立科学博物館の標本資料や研究活動についての紹介映像・パネルを見ることができる。

5. ＜料金＞　植物園来園者に対して無料で公開。（植物園の入園料については下参照）

6. ＜その他＞
   標本への影響を極力避けるため、照明は暗めにしています。
   写真撮影は可能。ただし、以下の３つの注意事項をお守りください。
   ※1）フラッシュ不可。　※2）商業利用目的の撮影は要相談。
   ※3）標本室内で職員が作業している場合の撮影はご遠慮願います。

＜筑波実験植物園について＞

開園時間：9:00～16:30（入園は 16:00 まで）
休園日：　毎週月曜日（祝日、休日の場合は開園）、祝日・休日の翌日
　　　　　年末年始（12 月 28 日～1 月 4 日）
入園料：　一般、大学生 300 円、高校生以下、65 歳以上は無料。

【見学スペースの様子】

見学スペース入口

見学スペースから見える標本室の様子

自然史標本棟見学スペースへの導線
（破線は階段があるルートです）